

(令和6年度) 学校自己評価書		園番号 713	園名 若草こども園	713若草こども園				
大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価		評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅰ 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育・保育目標の設定	・全職員が園の教育・保育目標を共通理解し、具体的な取り組みにする。 ・目標達成のため子どもの姿を踏まえて、計画を作成し実践する。 ・保護者へのアンケートを実施し、教育・保育活動の検証を行う。	・教育・保育目標及び目指す子ども像を見直し、育みたい子どもの力や姿を職員全体で共通理解することができた。 ・教育ビジョンの周知とともに、子どもの姿を捉え教育保育に取り組んだ。 ・保護者向けにアンケートを実施し、評価を得ることができた。	A	A	・園目標や計画に基づいて生活や遊び、行事を意識して取り組むことができたかどうか。 ・保護者アンケートでは、教育・保育活動において肯定的な評価をいただくことができた。	・目指すこども像と実践が結び付き、より質の高い教育・保育を提供することを目指す。 ・園の教育・保育目標や方針、保育内容等を保護者に分かりやすく伝える機会を増やし、理解を進めていく。
		② 教育・保育計画の作成			B			
		③ 全体的な計画の編成			B			
		④ 教育・保育活動の評価			A			
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	・発達や子どもの様子に応じて、毎月の指導計画を見直し、立案する。 ・子どもの姿に基づき、研究主題を設定し、職員全体で取り組んでいく。 ・保育者間で保育の振り返りをし、保育内容や環境構成について意見交換を行い、改善を図る。	・発達や子どもの様子を踏まえながら、各学年で指導計画の見直し、次の計画へとつなげていくことができた。 ・園内研修や公開保育を実施し、保育内容や環境構成、援助の工夫、改善につなげることができた。	A	B	・職員全員が子どもが遊ぶ姿を丁寧に捉えて分析し、環境・教材等を工夫したことで子どもの成長につながった。	・子どもの主体性を引き出せるような環境構成や援助を迫及する。 ・時間を確保し、職員間で話し合いながら、教材の精選・指導の在り方などを工夫していく。
		② 保育内容の精選			B			
		③ 指導方法の工夫改善			B			
		④ 評価			A			
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	・行事の目的や内容について子どもが主体的に進められるものとする。 ・乳児・幼児及び全体の行事内容の精選と工夫を行なう。 ・行事と保育とのつながりを意識しながら保育を行う。	・各行事のリーダーが中心となり、職員間で情報共有しながら取り組んでいくことができた。 ・運動会、発表会、作品展などの行事において、日々の保育の積み重ねを大切にしながら取り組んだ。 ・行事についてのアンケートをコドモンで実施し、保護者から感想を聞くことができた。	A	A	・園行事が子ども達にとってどのような学びになるのかを検討し、望ましい行事の構築に努めることができたかどうか。 ・行事について保護者・地域から良い評価を得ることができた。	・保護者、地域との連携を図りながら、子ども達の生活がより充実し豊かなものになるよう、見通しをもって計画し実施する。 ・園行事の精選をし、ねらいを見直し、職員間で共有していく。
		② 行事内容の精選			A			
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	・家庭支援推進保育士を中心として人権教育指導計画を立案し、取り組みを進める。 ・一人一人の生活背景や発達の過程、環境が異なることを踏まえ、職員間で連携しながら取り組みを進める。	・家庭支援推進保育士を中心として反戦・人権の取り組み、地域との情報交換等を行うことができた。また、多様な視点から人権学習会を計画的に行うことができた。 ・子どもとの関わりや言動等を振り返り、子どもの人権を尊重する保育を行えるよう、職員間で共通理解をした。 ・個々の思いや考えを大切に、互いに認め合える集団づくりに努めた。	A	A	・職員間や、家庭・地域と情報共有し、連携を図りながら取り組みを進めることができた。 ・保護者アンケートで「人権や命の大切さについての取り組みや、一人一人を大切にする関わりが適切にされている」に96%の高評価を得ることができた。	・今年度の取り組みを次年度に引き継ぎ、保護者と地域と共に情報共有しながら取り組みを進める。 ・一人一人の人権尊重を基盤に、園全体で人権教育を推進する。
		② 保育内容の精選			A			
		③ 指導方法の工夫改善			A			
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	・些細な事でも報告、連絡、相談を密にする。 ・子ども・保護者の思いに寄り添いすすめる。 ・家庭との連携を常に図っていくようにする。 ・関係機関との連携を密にとり情報共有を図る。	・課題を保育者間で共通理解する。 ・子どもの様子や保護者の思いを園全体で把握する。	A	A	・迅速に組織的な対応、職員間の連携と情報共有を図りながら取り組みを進めていけたか。 ・それぞれの事案に応じ、職員間や各関係機関と情報共有し丁寧に対応を行った。	・子どもの様子や保育者の関わり等について職員間で意見交流し、園全体で取り組む。 ・家庭、小学校、関係機関との連携を一層密にする。
		② 教育相談・幼児理解			A			
		③ 家庭との連携			A			
		④ 関係諸機関との連携			A			
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である ・日頃より実態把握・早期発見に努めている ・各学級の状況を園組織として共有できている ・保護者や地域と連携できている ・組織的に迅速に対応する体制が整備されている	・職員間で情報共有を図り、子ども一人一人の実態把握に努めた。また、関係機関と連絡を取り合ったりケース会議に参加したりし、連携しながら必要な支援を行っている。 ・保護者と信頼関係を構築し、保護者の話を聞き、適時対応や支援に努めた。	B		・子ども一人一人の様子を十分に把握するように努めたか。 ・子どもの様子や生活実態について職員間で情報交換を行い、気になる事案について確認しながら、関係機関や保護者への対応を迅速に行えるようにした。	・偏見やいじめにつながる言動を見逃さず、クラスや職員間で話し合い、対応していく。 ・子どもや保護者の実態把握に努め、職員間で情報共有し、配慮が必要な子どもや保護者への適切な対応を続けていく。
					A			
					A			
					A			
					A			
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	・特別支援を要する子どもを中心としたクラス運営を行う。 ・一人一人の課題を明らかにし具体的な指導方法を共通理解する。 ・保護者の思いや考えを尊重しながら進める。 ・関係機関との連携を図り、適切な援助を行う。	・支援を要する子どもについて、職員間で共通理解し関わった。 ・特別支援教育コーディネーターと連携を取りながら個別の支援計画に基づき、一人一人に応じた教育・保育内容につなげた。 ・市や県の関係機関と連携を図り、具体的なアドバイスをもらえる機会をもち、子どもの理解や支援方法等について学び、個々に応じた支援を行えるようにした。	A	A	・子どもセンターや療育施設など関係機関との連携、研修の充実に努め、職員間で共通理解を図りながら、一人一人に応じた支援を行えるようにしてきた。 ・保護者と共に子どもの成長発達へとつながる関わり方や環境構成等について話し合うことができた。	・今後も支援を必要とする子ども一人一人に応じた援助や環境構成について学び、支援を要する子ども達にとって安心できる居場所づくりを目指すしていく。 ・園外研修への参加や園内研修の充実を図り、保育の資質向上に取り組む。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容			B			
		③ 指導方法の工夫改善			A			
		④ 家庭との連携			A			
		⑤ 関係機関との連携			A			

(令和6年度) 学校自己評価書		園番号	園名	713若草こども園					
		713	若草こども園						
大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果		評価		評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(１) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	・園長が園運営の方針をもち、課題を踏まえた園ビジョンを設定する。 ・職員の自発性や特性を生かしながら、職員の能力が十分発揮できる園内組織を編成する。 ・職員会議を行い、職員相互の意思疎通を図る。 ・職員との信頼関係を構築し、風通しの良い職場環境をつくる。 ・保護者や学校評議員からの教育保育活動の評価について検証する。	・教育ビジョンを基に園運営の方向性を明らかにし、職員と共有を図った。 ・園務分担表を作成し、職員間で共有し、園運営に参画できるようにした。 ・日々の朝礼や、必要に応じて連絡・報告・相談をする場を設け、全職員が共通理解を図れるように努めた。 ・一人一人の良さを生かしながら互いに協力し合い、円滑に園運営が行えるように努めた。	A	A	・全職員で園ビジョンを共有し、園長のリーダーシップのもと取り組むことができたか。 ・職員間でコミュニケーションが図られ、協力体制が構築できている。 ・学校評議員から教育保育活動に高評価を得ている。	・職員一人一人が連携・協働を図りながら組織運営にあたる。 ・園務分掌を職員間で確認し、組織に一員として、各自が責任をもって遂行していく。 ・今後も職員間で報告・連絡・相談を行いながら意思疎通を図り、一人一人の良さが生かされる環境づくりを行う。	
		② 園経営目標・方針							
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識							
		④ 園務分掌等の連携							
		⑤ 会議の運営と位置づけ							
		⑥ 会議の結果							
		⑦ 職場の人間関係							
		⑧ 園評価の実施							
	(２) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	・園内研修や公開保育等を継続的に実施し、教育保育の資質向上を目指す。 ・園の研究主題を意識し、実践、研究に取り組む。 ・園外研修に積極的に参加し、学んだことを伝え合い、実践に活かせるようにする。	・園内研修、公開保育を実施し、子どもの姿を基に保育計画・環境構成・保護者の援助等について振り返り、保育の質の向上に繋げることができた。 ・職員が園外研修に積極的に参加するとともに、研修での学びや気づきを園内研修や保育実践に活かせることができた。	A	A	・保育の資質向上をめざした組織的・計画的な園内研修を実施できたか。 ・園内研修や公開保育を実施し、できるだけ多くの職員が参加できるような体制を整えた。また、職員間で子ども理解を深め、環境構成等について工夫や改善を行った。	・園内研修の内容や方法を工夫しながら計画的に進め、研究テーマに基づいた子どもの見方や取り組みについて学びを深める。 ・園内外研修の学びを実践に活かし、保育の振り返りを継続し、教育保育の質の向上を目指す。	
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施							
		③ 園外の研修への積極的参加							
		④ 園外研修内容の共有							
		⑤ 研修成果の普及							
	(３) 安全管理	① 安全計画の立案	・安全管理マニュアルをもとに安全計画・防災計画を立案し、職員の共通理解を図る。 ・災害発生時や緊急時に対応する訓練を実施する。 ・幼児や地域の実状に応じた安全指導の工夫をする。	・年間を通して、園内の安全点検を実施し、子どもが安全に過ごせるようにした。 ・年間計画に基づき、災害や不審者に備えて避難訓練を実施し、避難の仕方が身に付くように取り組むことができた。 ・園児引渡し訓練を実施し、災害に対する啓発を行った。 ・市の関係機関や地域と連携を図り、交通安全教室や防災教室、防災訓練を実施した。	A	A	・避難訓練や引き渡し訓練を実施し、職員の危機管理意識を高めることができた。 ・月1回の避難訓練や、交通安全教室等を通して、子どもが避難時の行動や交通ルールについて学ぶことができた。	・常に危機管理意識を持ち、園児の安全確保に努める。 ・引き続き、園児引き渡し訓練の実施方法を検討し、保護者との連携や意識向上を図る。	
		② 防災計画の立案							
		③ 危機管理体制の整備							
		④ 安全指導の工夫改善							
		⑤ 家庭との連携							
		⑥ 関係機関との連携							
	(４) 保健管理	① 保健計画の立案	・健康安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう、家庭と連携しながら指導に努める。 ・日々の健康観察を行い、心のケアが必要な子どもや保護者については全職員で共通理解し対応できるようにする。 ・アレルギー対応を徹底する。	・日々の教育・保育活動や、身体計測や手洗い教室等を通して、子どもが自分の体や健康を意識しながら必要な習慣が身に付くようにした。 ・園医、薬剤師、看護師、管理栄養士と連携し、健康管理や衛生管理を行った。 ・看護師による職員向け研修を実施し、訓練用の人形とAEDを使い、救命対応の手順を学んだ。 ・食事提供については、衛生管理やアレルギー対応等、職員間で情報確認・共有を図りながら日々安全に提供できた。	A	A	・個別に支援の必要な家庭が多く、登降園時や個人懇談で子どもの生活環境等を把握し、担任・家庭支援推進保育士・看護師が連携しながら対応することができた。 ・保護者アンケートで「健康にかかわる指導は適切にされている」に100%高評価を得た。	・子どもが自分の健康について意識がもてるよう、教材や指導方法を工夫する。 ・健康と安全保育について職員間で話し合い、保護者への啓発と連携を図る。	
		② 心のケアや健康相談の体制の整備							
		③ 健康観察、健康管理能力の育成							
		④ 関係機関との連携							
		⑤ 昼食の衛生管理							
(５) 地域との連携	① 園情報の発信	・教育保育活動にかかわる情報を保護者や地域に発信したり、保育公開をしたりしている。 ・地域の教育力を保育に取り入れる。 ・小・中学校、地域の関係機関との連携を密にする。 ・学校評議員に意見を聞く機会を定期的に設ける。	・園だより、クラスだより、ホームページ、人権メッセージ等を通して、園の取り組みや子どもの様子を発信した。 ・菜園活動や太鼓教室等、地域の教育力を教育活動につなげている。 ・地域の関係機関・小中学校の職員との連携に努めた。小学校の先生に公開保育に参加していただいた。 ・地域の会議に出席して園の取り組みを情報発信し、連携に努めた。 ・学校評議員会を開催し、行事や子どもの様子を参観していただき、評価をいただいた。	A	A	・毎月発行する便りや掲示物、地域の会議等を通して、保護者や地域に園の取り組みや子どもの様子を伝えることで、園理解につながっている。 ・地域の学校園や地域の方と情報交換したり、園の活動に関わっていたいたりし、連携をもつことができた。	・個別に支援の必要な家庭が多いため、地域の関係機関・小中学校とは常に連携し、情報交換を行い園運営につなげる必要がある。 ・ホームページの活用とともに保護者や地域への情報発信を高めていく。		
	② 園(保育)公開								
	③ 小学校との接続・連携								
	④ こ幼保との連携								
	⑤ 保護者会の活性化								
	⑥ 地域教育協議会との連携								
	⑦ 学校関係者評価の実施								
(６) 施設・設備	① 保育環境の整備	・園内環境の整備と点検を行い、不備や危険箇所を把握し、改善に努めている。 ・施設設備の管理を適切に行うとともに有効活用できるようにしている	・遊具、施設の点検を実施するとともに、清掃や草刈り、木の伐採など環境整備を行い、安全に保育が行えるようにした。また、修繕が必要な箇所は課に要請し改善に努めた。	A	A	・職員が協力し合い、園内外の清掃や整備、改善を行い、安全かつ快適な環境づくりに努めた。 ・保護者アンケートの意見を受け、迅速に保育環境の改善を図った。	・安全面を考慮し、今後も全職員で園内環境の整備や管理を行い、修繕が必要な場合は課と連携を取って改善していく。		
	② 施設設備の有効利用								
	③ 施設設備の管理								
(７) 情報管理	① 公文書の收受・保管	・各種文書を適正に作成、管理している。 ・個人情報について職員が共通理解し、適切に取り扱う。 ・電子媒体の適正な管理、運用を行う。	・個人情報やパソコン、カメラ等の取り扱いには細心の注意を払うことを注意喚起し、適切に管理した。 ・全職員が情報セキュリティの研修に参加したり、動画による自己研修を行ったりした。 ・機会をとらえ、保護者に個人情報の取扱いについて啓発した。	A	A	・管理簿を作成するとともに、個人情報や電子媒体の管理はマニュアルを遵守した。	・情報管理について全職員が共通認識をもつとともに、常に確認を行い、個人情報、電子媒体の管理・保護の徹底を図る。		
	② 公文書の作成								
	③ 個人情報の管理・保護								
	④ 情報の収集								
	⑤ 電子媒体の管理								